

# EarthFinder 操作説明書

OperationManual of EarthFinder.

Version 3.8.1  
差分マニュアル



## 目 次

はじめに .....	1
6 地図操作を行う .....	6-1
6.1 地図のなめらか表示 .....	6-1
10 プロット操作を行う.....	2
10.1 プロットを検索する .....	2
13 集計・グラフ操作を行う.....	5
13.3 集計結果を条件指定で絞り込む .....	5

# はじめに

本書では、Version3.8.0 操作説明書との差分 (EarthFinder Version 3.8.1 で新たに追加／変更した機能) について、その操作を説明しています。(追加／修正した部分にはマーキングをしています。)

各章、項目の番号は、EarthFinder Version 3.8.1 の(フル版)の操作マニュアルに対応していますので、必要に応じてご参照下さい。

以下に追加・改修した機能を一覧します。

- 地図操作
  - ・ 地図のなめらか表示を追加しました。
- プロット機能
  - ・ プロット検索画面に、「検索結果のプロットのみ地図上に表示」のチェックボックスを追加しました。
- 集計機能
  - ・ 集計結果条件抽出に、抽出結果をエリアとして保存する機能を追加しました。

## 6 地図操作を行う

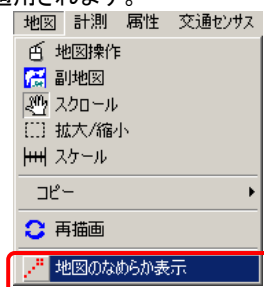
Version3.8.1 では以下の機能の追加／改修を行いました。

- ・ 地図のなめらか表示

### 6.1 地図のなめらか表示

アンチエイリアス処理を適用し地図の線、多角形、文字、シンボルをなめらかに表示することができます。

地図のなめらか表示(アンチエイリアス)を有効にするには、地図メニューから「地図のなめらか表示」を選択します。低スペックのパソコンでは描画処理が遅くなる可能性がありますので、初期状態は OFF となっています。一度選択すると設定は保存され、次回起動時はそれが適用されます。



(アンチエイリアスとは？:図形や文字を画面に表示する際、斜線やカーブの線などに現れるギザギザ(ジャギー)を除去してなめらかにすること。境界線の周囲に中間色の点を配置して滑らかな画像を得ることができるが、画像が多少ぼやけます。)

## 10 プロット操作を行う

Version3.8.1 では以下の機能の追加／改修を行いました。

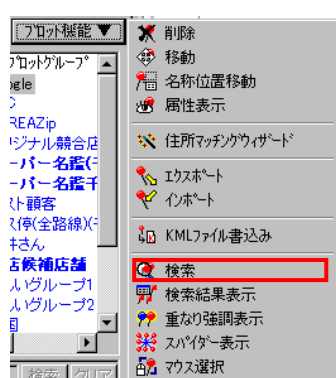
- ・ プロット検索画面に「検索結果プロットのみ地図上に表示する」のチェックボックスを追加

### 10.1 プロットを検索する

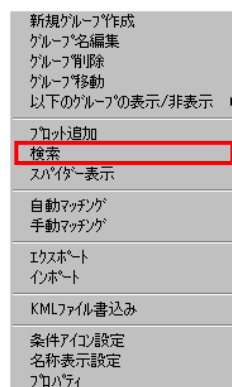
以下では、プロット検索に関連した機能について説明します。

#### 10.1.1 プロット検索

1. 「検索」画面を表示します。



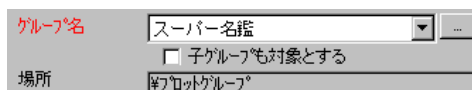
プロット機能メニュー



プロットグループ欄ポップアップメニュー



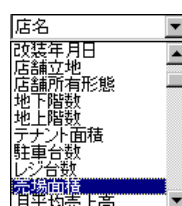
2. 検索するプロットグループを指定します。




「エラー! 参照元が見つかりません。エラー! 参照元が見つかりません。」(p. エラー! ブックマークが定義されていません。)

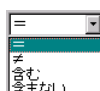
子グループも対象にすると、親子共通の属性名称に対して検索条件を与えることになります。


3. 検索条件となる属性項目を選択します。



 未入力項目のチェック欄にチェックすると属性値が入力されていないプロットを検索することができます。この場合、4.～6.の操作はできません。

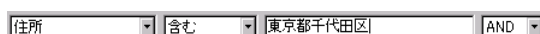
4. 「検索式」を選択します。



 主題属性が文字列型/マルチメディアデータ型の場合と、数字型の場合では、表示される検索式が以下のよう異なります。

主題属性	検索式	意味
文字列型 または マルチメディアデータ型	=	条件に入力された値と完全に一致する属性値。
	≠	条件に入力された値と一致しない属性値。
	含む	条件に入力された値を含む属性値。
	含まない	条件に入力された値を含まない属性値。
数字型	=	条件に入力された値と完全に一致する属性値。
	≠	条件に入力された値と一致しない属性値。
	<	不等号の"<"に値します。例えば、従業員数に対して条件を"100"と設定されている場合、"99"が入力されているプロットは該当しますが、"101"と入力されているプロットは該当しません。
	≤	不等号の"≤"に値します。
	>	不等号の">"に値します。
	≥	不等号の"≥"に値します。

5. 検索文字列を入力します。



6. 連結式を選択します。



連結式	意味	使用例
AND	かつ	<p>検索条件として、画面上に次の値を設定したとします。</p> <p>「住所」「含む」「東京都千代田区」 AND 「従業員」「&lt;」「1000」</p> <p>この場合、2つの条件式を両方とも満たすプロットのみが検索結果として表示されます。そのため、住所に「東京都千代田区」が含まれていても、従業員が1000を超えているプロットは検索結果として表示されません。</p>
OR	または	<p>検索条件として、画面上に次の値を設定したとします。</p>

	<p>「住所」「含む」「東京都千代田区」OR 「従業員」「&lt;」「1000」</p> <p>この場合、2つの条件式の<u>どちらか一方</u>を満たすプロットのみが検索結果として表示されます。</p>
--	--

以上の4～6の操作を繰り返し、検索条件を追加することができます。

7. [検索]ボタンをクリックすると検索結果が表示されます。

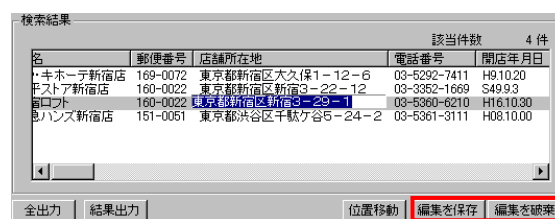
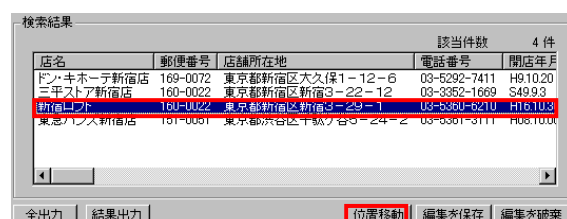


① [クリア]ボタンをクリックすると、入力した検索条件が初期状態に戻ります。

② 検索結果一覧の上の[検索結果プロットのみ地図上に表示する]をチェックすると、一覧上にあるプロットのみが地図上に表示されます。(Ver3.8.1より)

③ 検索結果一覧でプロットを選択し、[位置移動]ボタンを選択すると、そのプロットの位置が地図上の中心となるように地図が移動します。

④ 検索結果一覧で属性項目を修正できます。修正後[編集を保存]ボタンを選択すると、プロット属性としてデータベースに保存されます。破棄すると元の値に戻ります。



⑤ 副地図が表示されている場合は、副地図の移動も行います。

⑥ 地図上で検索結果一覧に表示されているプロットをクリックすると、検索結果一覧の該当する行が反転表示されます。それ以外の場所をクリックすると反転が解除されます。



## 13 集計・グラフ操作を行う

Version3.81 では以下の機能の追加／改修を行いました。

- ・ 集計結果条件抽出で、抽出結果のエリア保存を追加。

### 13.3 集計結果を条件指定で絞り込む

### 13.3.4 抽出結果の出力(保存)

集計結果条件抽出で抽出した結果は、Excel およびエリアとして出力（保存）することができます。  
抽出結果一覧表の右上部にある「エリアとして保存」「Excel 出力」から行います。

**■集計結果条件抽出**

グラフ [08]世帯数関連 表示設定 グラフプロパティ

---

ランク | 指標値 | 空白地域 | 吸弓エリア |

**空白地域抽出**

指定されたフロットを中心とした円や到達圏、あるいは登録済みのエリアにかからない地域を抽出します。  
例) 売上高xxx円以上の競合点の半径1Kmにかからない地域

☒ 空白地域による抽出を行う      
☒ 円      
☐ 到達圏      
☐ エリアグループ\*

フロットグループ\* 地図店舗シンボル ... の属性項目 <指定無し> の値が  
以上 のフロットの半径  km ↓ ↑

グループ*	属性	比較値	半径/時間
<input checked="" type="checkbox"/> 地図店舗シンボル	<設定なし>		0.3 円(km)

抽出結果(96件) エリアとして保存 Excel出力

メッシュコード	一般世帯数(総数)
533923564	1498
533923573	795
533923591	665
533923592	182
533923593	254
533923594	88
533923671	749
533923673	949
533923751	723
533923784	45

抽出条件リセット      抽出実行      閉じる

#### 13.3.4.1 エリアとして保存する

抽出結果を形状(町丁目、メッシュ)として保存するには「エリアとして保存」を選択します。

1. 「エリアとして保存」ボタンをクリックします。
2. 「抽出結果保存」ダイアログが表示されますので、保存先のエリアグループを選択します。

抽出結果をエリアとして保存

グループ 抽出結果保存 ...

場所 ¥ローカル エリアグループ

保存

#### 13.3.4.2 Excel に出力する

抽出結果一覧表を Excel に保存するには「Excel 出力」を選択します。ロパティについて説明します。

1. 「Excel 出力」ボタンをクリックします。
2. 名前を付けて保存のダイアログが表示されますので、ファイル名を指定して保存します。

以上